

原発連事務局FAX通信 第990号 2020年6月6日

原発問題全道連絡会 事務局発行 Fax:011-815-4545 又は011-3721-2127

第3波のコロナウイルス感染拡大防止へ、PCR検査体制強化、医療・介護崩壊の危機打開を最優先に、道民の命と暮らし、雇用、福祉・教育、経済再生に頑張る道政をめざそう！

第2回定例道議会（6/16～7/3）に向けて明るい会が道政懇談会

明るい革新道政をつくる会（明るい会）は6月5日、第2回定例道議会を前に日本共産党道議団と道政懇談会を開催しました。三上友衛明るい会代表幹事の開会あいさつに続いて、真下紀子道議団長が、コロナウイルス感染防止で、無補償の自粛の要請で各層各分野の道民がピンチに陥っているのをチャンスとばかりにテレビ記者会見を繰り返し自身を売り込み支持率をアップさせ、ついに道議会も開かず48億円もの補正予算を専決処分するなど、そのやり方は、地方政治の2元制（首長と議会の）原則を無視するような独断専行的手法を厳しく告発、2定では、コロナ対応で、PCR検査体制の拡充強化と病院等医療機関の減収による経営危機打開の対策を最優先に、参加された各界各層、各団体の要望を踏まえ、道民要求実現へ全力あげると挨拶。その後、参加した諸団体から、直面する問題と解決すべき中心的要求内容などについて要望が示され、道民要求実現へ意欲みなぎる道政懇談会となりました。

泊原発は再稼働せず、即時撤退・廃炉を決断する以外にない

道原発連からは米谷道保代表委員が参加、資料を配布。資料の中で、泊原発の緊急時対応の避難防災計画の根本的見直し（3密抑止対策など）とともに、原子力規制委員会による審査で「適合」と判断されても、「安全性を保障するものではない」（規制委の見解）泊原発は、福島原発事故のような重大事故（過酷事故）を起こさないためには、トラブル続きで規制委からも9回も保安規定違反が出され、運転する資格があるか疑念がもたれるような事態にあり、北電は、泊原発から即時撤退を決断する以外にない事態にあること明らかにしました。

6月イレブンアクションにご協力を！

6・11 原発ゼロ・昼休み宣伝行動

◇日時 6月11日(木)12時15分～同45分

◇場所 紀伊国屋書店札幌本店前(北5西5)

◇主な行動 リレートーク、原発ゼロ基本法リーフレット配布、泊再稼働シール投票

コロナウイルスの影響で、4月26日のチェルノブイリデーから昼休み宣伝行動を中止していましたが、6月11日のイレブンアクションから再開します。ご協力をお願いします。

「事故10年目の福島現地を見る」全国交流集会は再度延期

開催日程は夏か秋か冬か来春かは、コロナ対応見て決められませんが、必ず開催の予定です。

